

県西教育事務所だより

「学校に元気を 先生方に自信と勇気とやる気を 子どもたちに夢と生きる力を」 令和3年1月13日発行(第8号)

令和3年 ～柔軟でスピーディーな変化の求められる年に～

明けましておめでとうございます。

令和3年の幕が開けました。皆様におかれましては、新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。令和2年は、教育現場においてもコロナ禍により、今までに経験したことがない大変な年でした。そのような中において、教職員の皆様には様々な対応をしていただきましたこと、さらには「いばらきオンラインスタディ」の動画作成で、大変お世話になっておりますこと心より感謝申し上げます。

さて、令和3年は「GIGAスクール構想の実現」、「働き方改革のさらなる推進」等に積極的に取り組んでいかななくてはならない「柔軟でスピーディーな変化を求められる年」になると考えます。

本年も県西教育事務所は、学校、教育委員会と『連携』しながら「学校を支え 共に歩む 信頼される教育事務所」を目指して取り組んでいく所存です。

最後になりますが、本年が児童・生徒、教職員一人一人にとりまして、輝かしい一年になりますことを願っております。

県西教育事務所長 櫻井 千洋

○「中学生のための教職セミナー」オンライン開催

【令和2年11月28日(土)茨城県教育研修センター】

教員という職業に興味や関心がある生徒を対象に、職業の意義についての基本的な理解や認識、夢や希望を実現しようとする意欲的な態度など、望ましい勤労観、職業観を育む機会として、「中学生のための教職セミナー」が管内37名の生徒が参加して実施されました。

今年度はオンラインで実施したことにより、「参加しやすくなった。」という参加者もいました。グループトークでは協力者の先生方が、教師になったきっかけや仕事のやりがいなどを話し、生徒の質問に答えていただきました。

協力者の先生方

- | | | |
|---------|------|----------|
| ・箕輪 真央 | 教諭 | (駒羽根小) |
| ・端 圭介 | 教諭 | (結城南中) |
| ・廣岡 佳恵 | 養護教諭 | (五霞西小) |
| ・遠藤 ちか乃 | 栄養教諭 | (神大実小) |
| ・川島 彩花 | 教諭 | (古河第一高) |
| ・小田 優季 | 教諭 | (水海道第二高) |
| ・竹内 博紀 | 教諭 | (下妻特別支援) |

生徒の感想より

- ・教職について、不安だったこと、疑問だったことがあったけど、楽しさ、魅力が分かって、なってみたいと思いました。
- ・なりたいたとは思っていても、あまりよく分かっていなかった教師という仕事について教えていただき、とても参考になりました。また、アドバイスもいただき自信になりました。



参加生徒とのやり取りの様子



5～7名でのグループトークを実施しました

タブレットで資料を見せながら・・・

中学校「社会」評価の進め方について

令和3年度から中学校の学習指導要領が全面実施となります。第7号の「中学校国語の評価の進め方」に続き、「中学校社会の評価の進め方」について解説します。なお、小学校社会の評価の進め方についても同様ですので、小学校の先生方も参考になさってください。

〈例〉 公民的分野 単元名「世界平和と人類の福祉の増大」

【単元の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。その際、領土（領海、領空を含む。）、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。</p> <p>・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの現代社会に見られる諸課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。</p>	<p>・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>	<p>・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>

【指導と評価の計画】

次	ねらい・学習活動	評価の観点	評価規準（評価方法）
一	グループで、国際社会で取り組むべき課題についてインターネットなどで調べ発表する。	知識・技能	・国際社会で取り組むべき課題について、 <u>図書、統計、新聞、インターネット</u> などから情報を収集している。（ <u>観察</u> ）
二	紛争やテロについて、教科書で取り上げている事例などを読み取り、国際協調の観点に基づいて国家間の対立の克服が試みられていることに気づき理解する。	思考・判断・表現	・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性に着目し、紛争やテロの背景及び人々や社会への影響について多面的・多角的に考察している。（ <u>発言ノート</u> ）
三	貿易をめぐる動向（自由貿易、地域統合など）とその背景について情報を収集し、貿易に対するグローバル化の影響と世界が目指すべき方向について考察する。	主体的に学習に取り組む態度	・国際社会の動きについて関心をもち、 <u>問いを見いだし、その社会的意義を記述している。</u> （ <u>ワークシート</u> ）

テストにおいて、事実的な知識の習得を問う問題と知識の概念的な理解を問う問題とのバランスに配慮するなどの工夫改善を図る必要がある。

テストのほかに論述やレポートの作成、発表、グループや学級での話し合い活動を取り入れたりするなど評価方法を工夫する。

ノートやレポートにおける記述、授業中の発言、行動観察、自己評価、相互評価等を評価の考慮する材料として用いる。知識・理解、思考・判断・表現の観点の状況を踏まえた上で評価する。

「単元の評価規準」と「指導と評価の計画」を作成して評価を実施

- ① 単元の目標作成
- ② 単元の評価規準の作成
- ③ 指導と評価の計画を作成
- ④ 授業を行う
- ⑤ 観点ごとに総括

【参考資料】

- ・『学習評価の在り方ハンドブック』小・中学校編（文部科学省 国立教育政策研究所教育課程研究センター令和元年6月）
- ・『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（中学校社会）』（同上 令和2年6月）

人事課からのお知らせ

<年度末の安全管理について>

- 児童生徒の安全安心のために、長期休業明けの学校施設等の再点検を！
 - ・校舎内の窓・扉・ドア等の破損や鍵の状態の確認と体育館、校庭の遊具、物置小屋、プール等の校舎外施設の確認
 - ・保護者や地域の方と連携した通学路の安全点検
- 降雪に備えた安全対策を！
 - ・緊急時の学校の体制の確認と保護者、教職員の連絡方法の確認
 - ・教職員の通勤時の安全対策（スタッドレスタイヤの装着やチェーンの所持等）の確認
- 進路事務、成績処理における個人情報管理の徹底を！
 - ・校務用パソコン、各種記憶媒体等のデータ管理（セキュリティ）の再確認
 - ・補助簿やテスト等の成績関係書類、出願関係書類、家庭環境調査票等の管理方法の確認
- 年度末に向けた適正な会計処理を！
 - ・学級費や部活動費等における金銭の取扱いの適正処理
 - ・管理職による定期的な検査及び保護者等の外部関係者による監査の確実な実施